様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第１・２・３学年 歴史的分野	歴史・730	中学社会　歴史 未来をひらく
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　歴史のとらえ方に関する内容 　小学校で学習した歴史上の人物の情報をまとめたカードをテーマ毎に整理したり、時代の分け方や年表の見方について確認したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　古代までの日本に関する内容 　世界の古代文明について共通する特色を整理したり、旧石器時代と新石器時代について暮らしの共通点や違いをまとめたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　中世の日本に関する内容 　平氏の政治と摂関政治を比較して似ている点について整理したり、室町文化の中から現代に伝わるものを取り上げ室町文化の特色を説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　近世の日本に関する内容 　織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された観点でまとめたり、元禄文化と化政文化の共通点や時代背景の違いについて説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　近代の日本と世界に関する内容 　ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について日本にとって不利な点をまとめたり、第一次世界大戦後に国際社会で起きた大きな動きをあげて大戦前との違いを説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　現代の日本と世界に関する内容 　高度経済成長による産業構造の変化について説明したり、冷戦終結による国際社会の変化について対立と紛争の用語を使って説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 　学習のまとめと表現において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、図表にまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。 ○　内容の分量 　「歴史のとらえ方」は9 ページ「古代までの日本」は、38ページ、「中世の日本」は34ページ、「近世の日本」は44ページ、「近代の日本と世界」は104ページ、「現代の日本と世界」は32ページであり、総ページ数は261ページで、前回より約2%増となっている。			
使用上の配慮等	○　アイヌの人たちの歴史や文化について、「シャクシャインの像」の写真を取り上げたり、江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「屯田兵による開拓」の写真を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「時代の変化に着目しよう」において、学習を広げ深める課題を提示したり、「読み解こう」において、資料の読み取りや考察の仕方を提示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　日本の歴史を世界の動きと関連付けて学習できるよう、朝鮮、中国の時代区分の項目を位置付けた年表を掲載するとともに、学習を深めることができるよう、巻頭に「歴史のなかの言葉」、巻末に「各地の遺跡・史跡・できごと」を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色にしたりするなど工夫するなど使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、アイヌの人たちの歴史・文化等について 25 箇所、北方領土について 11 ページが取り上げられている。 ○　第１章では、小学校で学習した歴史上の人物や、文化遺産を振り返る学習を位置付け、中学校第１学年のスムーズな接続が図られるよう配慮されている。 ○　色覚等の特性を踏まえた判断しやすい配色、レイアウト、表現方法、文字の工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮されている。			